

編輯だより

うちつゞく小春日に、子供等はよくあそびます。

關東災害後第二回の冬が近づかんとしつゝあるにもかゝはらず、バラックの生活にもかゝはらず、去年の冬よりも暖かに、玩具もあり花もある明るい、そして落ちついた日々を東都の幼稚園の子供達

が送る事のできるのは、已知未知の全國の同情から、ことに可愛い多くの同情が、西から、南から、北から、東から、はるばると運

ばれた事を今更のように思ひます、そして此の幸な秋に新たな感謝が湧き出ます、それを言葉にあらはして言ひ得ない子供に代て、私は御禮を申上ます。

皆様の御寄稿によつて、本誌がます／＼充實に向ふ事は、ほんとうに喜ばしい事であります、終りに、本誌の編輯が大層をくれた事をおわび申上ます。(編輯子)

發行所

教文書院

東京上野公園寛永寺坂下(上根岸八十八)

電話下谷三〇四七番・一九五二番
振替東京四六一一番

斷無
禁轉載

編輯者 東京女子高等師範學校内日本幼稚園協會
發行者 東京市下谷區上根岸八十八番地
印刷所 東京市京橋區木挽町二ノ一三
石上文新吉郎

大正十三年十一月十五日納本

第二十四卷第七號

表價定		冊數	定價	郵稅
料	告廣	冊	金參拾五錢	金貳圓
普通面	一頁	金四拾五圓	金四拾五圓	不 要
表紙裏付	金四拾五圓	同	一頁以下御 斯	要
（外國行郵稅は一部十二錢の割にて徴拂込下さい）				
▽本誌購讀御希望の方は定價表により振替貯金で御送 金下さい（東京四六壹壹番教文書院宛）				
▽▽▽前金切れの節は帶紙に「前金切」と致します。 本郵券送金の節は一割増で一錢切手に頼ひます。 志の一切は教文書院宛御照會下さい。				